

「三鷹市都市経営アクションプラン2027（案）」に係る市民意見への対応について

【凡例】

- ①計画に盛り込みます・・・・・・・・意見を概ね提案どおり又は趣旨として盛り込むもの
- ②事業実施の中で検討します・・・・・・・・計画へ盛り込まないものの、事業実施段階で判断するもの
- ③既に計画に盛り込まれています・・・・・・・・既に意見が計画に盛り込まれているもの。既に意見の趣旨が計画に反映されているもの
- ④対応は困難です・・・・・・・・趣旨の反映を含め計画に盛り込むことが困難なもの
- ⑤その他・・・・・・・・その他の意見など

パブリックコメント提出状況

人数： 2名
件数： 13件

※パブリックコメントによる市民意見については、一部抜粋又は意識して掲載しています。

No	該当ページ	該当部分	市民意見※	対応の方向性	
1	P2	総論	個別計画「スマートシティ三鷹構想2027」がなくなり、「三鷹市都市経営アクションプラン2027」に統合されたのは、前段階の「スマートシティ三鷹（仮称）の実現に向けた基本方針」からもやや後退し、“格下げ”された印象をもちます。個別計画を中止とした真の理由はなんのでしょうか。また、今後も「スマートシティ関連」を個別計画にする予定はないのでしょうか。	⑤その他	「スマートシティ三鷹構想2027（仮称）」は、行政事務の効率化や市民の暮らしやすさの向上につながる「都市経営」の視点も含まれており、また、DXは行財政改革の中心となることから、本プランに統合することとしました。
2	P4	総論	「三鷹市都市経営アクションプラン2022」の達成状況について、個別課題の多くが達成（一部達成）とありますが、記述すべき課題はひとつもないのでしょうか。	⑤その他	「三鷹市都市経営アクションプラン2022」の達成状況については、令和6年7月に発行した「三鷹市自治体経営白書」において記載しています。
3	P5	各論全般	各体系に「目標値」が設定されていないのは合理性に欠けるように思います。財務指標のように独自の指標/目標や基本計画にあるKGI/KPIなどからの展開もあるように思います。	④対応は困難です	施策横断的な内容であり、計画を推進することで基本計画におけるKGI/KPIの達成を目指すこととしているため、本計画において、数値目標を設定する予定はありません。
4	P5	各論全般	前計画「三鷹市都市経営アクションプラン2022（令和2年3月）」では、各体系に付随する全ての実施施策は「項目、担当、効果区分、概要、効果、目標、計画（値）」等が統一された表形式で記述されており、とても理解しやすい内容でした。新計画ではこれらがほぼ全て省略されているのには戸惑いを覚えます。新計画でも、従来通り、効果や目標、計画（値）を含む前アクションプランと同じ形式/情報提供するのが責務だと考えます。上記の対応ができない場合、各体系下の各分野の個別施策の（「実施項目」の概要を除く）具体的な「効果、目標、計画（値）」等はどのように公表・確認できるのでしょうか。	④対応は困難です	方向性や効果、スケジュール等を盛り込みつつ、誰もがイメージしやすいように、簡潔に表現する内容に改めました。事業実施の段階における予算において効果や活動量について、明らかにしていきます。
5	P5	各論全般	本計画（案）と他の20を超える個別計画との関係を明確にする必要があると考えます。個別計画を取りやめ代わりに新規に計画されている『体系1「デジタル技術の活用」』以外の各体系の構成分野における実施施策は、他の個別計画にある主な施策や計画等を関連分野毎に再層別しているという理解で正しいでしょうか。「体系2-1市民活動」を例にとると、記載されている6項目の計画は「コミュニティ推進計画」、「生涯学習プラン」、「緑と水の基本計画」等にある実施施策/計画とほぼ同等の内容ではないでしょうか。体系2「多様な主体との連携・協働」全体では、「三鷹市都市計画アクションプラン2027（案）」にしかない独自の施策はどれでしょうか。	⑤その他	本計画は、第5次三鷹市基本計画における個別計画の一つです。施策横断的な内容となることから、関連する個別計画の内容を整理しまとめたものです。体系2「多様な主体との連携・協働」において本計画のみに記載されている事業は、「企業、大学との連携の推進」、「近隣区市との連携の推進」及び「市有地等の利活用」です。
6	P5	体系1 デジタル技術の活用	「だれもが、デジタル化の恩恵を享受できるように、デジタルインクルージョンの視点に立ち、市民のデジタル利用をサポートします」とあります。計画期間の2027年に向かっては、想定を超えるAIの進化や市民生活への深い影響が予想されます。これは、DXとかSNS利用とは次元が異なります。このような時代の激変に対して市民/市全体の「ITリテラシー（知識と活用法）」の継続的な向上は不可避と言えます。本計画においても、パッシブなデジタル相談員などに留まらずITリテラシーに関する市民教育の機会を計画すべきと考えます。	②事業実施の中で検討します	本計画には直接反映しませんが、デジタルインクルージョンの視点を踏まえ、市民のAIリテラシー教育については今後の事業実施の中で検討してまいります。
7	P5	体系1 デジタル技術の活用	本計画（案）はスマートシティ三鷹構想2027を統合した計画なので、上位基本計画のデジタル化KGIである「デジタル技術を活用したサービスの提供に満足している市民の割合＝23.3%（満足していない割合＝17.3%）」を管理目標指数として設定すべきではないでしょうか。また、この目標値は大幅に改善すべきと考えますが、令和9年の目標値を教えてください。	④対応は困難です	施策横断的な内容であり、計画を推進することで基本計画におけるKGI/KPIの達成を目指すこととしているため、本計画においては、数値目標を設定する予定はありません。基本計画においても、令和9年度の具体的な数値目標は設定しておらず、計画期間に維持・向上させることを目標としています。
8	P11	体系2 多様な主体との連携・協働	「市民活動」の項には6つの施策が計画されていますが、この並びは部門別では無いようですが、優先順位順でしょうか。	⑤その他	並びについては、優先順位順ではなく、総論的な内容から各論的な内容となるように掲載しています。
9	P11	体系2 多様な主体との連携・協働	「みたポ」の投資対効果には懐疑的な見方もあると思いますが、計画期間内にどのくらいの利用増加（定量的な効果）を想定しているのか明確にすべきだと考えます。	②事業実施の中で検討します	予算や決算の中でポイントの実績等を明らかにするとともに、これらの実績等を踏まえ、今後の流通量や効果の検証について検討してきます。

No	該当ページ	該当部分	市民意見※	対応の方向性	
10	P11	体系2 多様な主体との連携・協働	様々な「学び」に参加している市民と、市内で活動している様々な「コミュニティ」の相互交流の促進を図り、学びと活動の循環などを促進することは重要だと思います。一方で、現在の課題は、同じ分野で活動している「コミュニティ」間での横連携が非常に希薄なことです。例えば、かなりの数の環境関連の活動をしている団体・コミュニティが存在していますが、相互の交流や協力関係を構築する機会はありません。学びと活動の循環だけでなく、同種の「コミュニティ」間の相互交流/協力により、より大きな力となって市民活動や地域の活性化に貢献すると思います。このような、コンソーシアム的なものの構築や仕組みを計画し、早期に始めることを要望致します。	②事業実施の中で検討します	地域で活動している団体や市民同士が連携して、新たな活動につながるようなコーディネーター機能については、計画に盛り込んでいます。事業実施の中で、コンソーシアムの可能性について、検討を行います。
11	P15	体系3 持続可能な自治体経営	財政や基金の目標値等の追加説明が必須かと思えます。	④対応は困難です	財政や基金の目標値等については、「第5次三鷹市基本計画」第5章の財政フレームにおいて掲載しているため、本計画では目標値等の追加説明を掲載していません。
12	P17	体系3 持続可能な自治体経営	太陽光設備の導入に賛成です。断熱施工なども省エネに効果的ですので含めてください。	⑤その他	公共施設の断熱性能の向上は重要な視点であり、新築時に加えて、大規模改修等の際においても、施設の特長や費用、工期を踏まえながら可能な限り対応していきます。
13	P19	体系4 柔軟かつ機動的な組織づくり	第5次三鷹市基本計画の関連KGIである「三鷹市役所を行政機関として信頼している市民の割合=88.4%」が管理目標指数として良いのではと考えます。この目標値の令和9年の目標値を教えてください。	④対応は困難です	施策横断的な内容であり、計画を推進することで基本計画におけるKGI/KPIの達成を目指すこととしているため、本計画において、数値目標を設定する予定はありません。基本計画においても、令和9年度の具体的な数値目標は設定しておらず、計画期間に維持・向上させることを目標としています。